

パナソニック藤沢 SST（サステナブルスマートタウン）についての 聞き取り記録

オンラインによる聞き取り先

パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社

コーディネート 児玉麻里子

聞き取り 寺田卓二

とき：2022年11月25日3時PM～4時PM

藤沢 SST

パナソニックの工場跡地を利用して2014年から売り出された戸建て住宅地
各戸で創エネ（太陽光発電）して、蓄電池も備えた住宅

藤沢市と協働し、まち全体としてのエネルギーマネジメントも行っている。

また、自動車の活用を少なくするため、駐車場無しの住宅も複数あり

周辺の住宅と比較すると高い価格になったが、太陽光パネルや蓄電池、エネファームなどもついており、高い買い物とは思わない人たちに売れた（高所得者層をねらった）

なお、蓄電池の夜間利用ということについては、蓄電池はあくまでも非常時の電源として、満充電にしておいてほしいとの約束事のため、日常的には使ってこなかった。しかし、現在、日常的に使うべきではないかという議論が出てきている。

また、住民からの自主的な動きとして、これからの藤沢 SST をどうしていくか（卒 FIT、施設設備の買い替え）について話し合っていこうとする動きが出てきている

約8年たって、セキュリティ、環境といった意識では、満足度が高い。

これらの取り組みは、今後の街の再開発等において参考になると思った。